

【記事概要】

公開日：2020年8月16日

COVID-19: COVID-19の影響を受けファッションブランドが注文をキャンセルしサプライヤーへの支払いを差し控えた結果、アジアの縫製労働者は60億ドルの賃金を失う

著者：パトリシア・ニルソン、ファイナンシャルタイムズ

「アジアの縫製労働者はパンデミックカットにより60億ドルを失う」

2020年8月10日

世界最大のファッションブランドがパンデミックのために注文をキャンセルまたは遅延し、支払いを差し控えたため、アジアの何百万人もの縫製労働者が60億ドルの賃金を奪われています。…

労働組合連合の Clean Clothes Campaign の報告によると、Hennes & Mauritz、Topshop、Gap を含むグローバルファッションブランドの小売業者へのサプライヤーの多くの労働者は、5月までの3か月間で賃金の一部のみ、あるいはまったく賃金を受け取っていないとされています。…

H&M と GAP は、サプライチェーンの労働者が賃金を削減されたという主張に関するコメントを避けました。TopShop(ロンドン発*ハイストリートファッションをリードする製造小売ブランド)をグループ会社に抱える Arcadia は、コメントの要請には応じませんでした。GAP は先月、サプライヤーへの支払いをすることを約束しましたが、Arcadia はそのような約束をしていません。キャンペーングループは、ファッションブランド各社は労働者の賃金を直接管理はしていないものの、「サプライチェーンに沿って利益がどのように生み出され、配分されるかを指令し、賃金が低く社会的保護が弱い国にサプライチェーンを置くことを選択した」と主張しています。…

[全文を読む](#)